



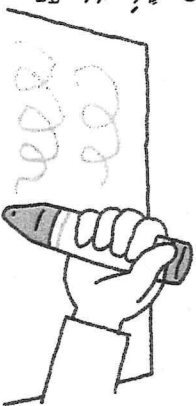
No.3

令和7年5月
印西市立子ども発達センター
きりん・ぱんだ・こあら

スプーンは、自分で操作する初めての食器です。子どもの意欲の芽を摘まないように、焦らず、認めながら援助していきます。スプーンを使い始めるころ、手指の機能はまだ十分には発達していません。子どもの発達過程を知り、一つの過程を十分に経験してから次の段階に導いていくことが大切です。たんぽぽでは、一人一人の発達段階に合わせた支援を行っています。

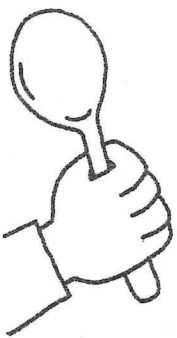
1、導入の時期

遊びの中で、肘や肩を自分の意思で動かし、物を握ったり、離したりが自由にできるようになったらスプーン導入の時期です。例えば、クレヨンを上握りしてなぐりがきができるなどです。クレヨンの使用は、スプーンの練習にもなります。



2、上握り

手のひら全体に握りこみま
す。



3、指3本の上握り

親指、人さし指、中指の3本
を使い、やわらかくスプーンを
握ります。



4、下握り

下から握る。または、親指、人
さし指、中指の3本を使って下
から握ります。



5、鉛筆握り

鉛筆の握り方でスプーンを持
ちます。



スプーンを持ちたがらない子は…

手指の運動機能が十分に発達していないため、思うように使えず、スプーンを嫌がっている場合もあります。手指の運動機能の発達を促す遊びを行ってみましょう。

